

平成 25 年度 事業計画 (従来表示による)

1. 前提となる主な事項

- ・現在の年度においては、年度始めには 107 会員であったが、会費徴収の過程で 8 会員が退会し、99 会員で運営をしてきたところである。しかしながら本年度の業務上のかかわりの中で、リサイクル・ループの新規構築や更なるリサイクルの展開などにより相互関係が深まり、入会の可能性のある団体が出てきていて、今後の会費収入に期待がもてる状況にある。
- ・受託事業については、現在も 1 件の農水省による補助事業を遂行中であるが、政権交代による国土強靱化法制定をうけた農業の強化策や再生可能エネルギー買取りなどへの新しい風が直接的ないしは間接的に食品リサイクルループ構築の分野にも追い風となっており、複数のリサイクルループ構築や受託事業の実現を図る良い機会が到来したと思われる。
- ・啓発事業については、食品リサイクルループ構築の進展のためには消費者の理解と支援が必要不可欠との立場から、消費者の啓発につながる各種施策の実現に努力してきたが、各施策とも定着化ができたこと、またそれらの過程をとおして、この財団の認知度の一層の向上が図れ、公益法人たるを示すことが果たせた。
- ・業務支援事業のうち、リサイクルループ構築の支援に関してはプロジェクトの種まきと育成で各案件とも若干の進展がみられたにとどまった。会員入会の項で申し上げたが、財団のミッション遂行のための環境は良くなっているため、いくつかのプロジェクトについて種から芽へ、芽から花へ大きく進展させられることが見込まれる。
- ・業務支援事業のうち、ダンボールコンポスト普及支援事業については、八王子市が市の事業のひとつとして積極的に支援してくれたことから、他の啓発事業と同様、定着化が図れた。
- ・平成 25 年度の事業遂行上の特記事項は、ワタミグループとの強固な事業上の協力関係のスタートの年度であることである。同グループのワタミエコロジー(株)や(有)ワタミファーム等との win-win な協力関係を模索し、一つひとつの場面をクリアしていくことで、食品リサイクルの進展、ループリサイクルの構築を、より速やかに実現出来ることが期待される。これによりワタミグループにとってはもとより既存の会員にもメリットを持たせられるように仕組んで行く。その結果として、財団の基盤強化のための既存会員の維持ができ、また、新規会員の更なる獲得につなげて行く。

以上の基本的な考え方に基づき、確たる収入源である会費収入が昨年より若干減少していることを考慮し、従来から手つかずのまま来ている取組むべき案件である、①環境展 / 食育展等への参加、②エコフィード料理コンテストの実施、③政策提言 / キャンペーン等の実施については、期中の資金の消化度合いを勘案しながら、臨機応変に対処して行くことと致したい。

2. 各事業の基本的なスケジュール

(金額の単位:千円)

公益目的事業と区分 公1「有機質資源等のリサイクルの促進に資する事業」	科目 (通称)	項目 (実際の事業名)	月 別 事 業 計 画 案												
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
(公1の中の区分) (1)技術開発、研究開発事業 (各理事主体)	受託事業	・3研究所の関係する業務 (農水省等受託案件) ・海外バイオマス案件 (JICA、EBRD、ワタミスクールエイトのチャンネルなど)	資源循環システム研究所 循環型社会研究所 炭素循環研究所 阿部理事(和郷園 or EBRD)	①加賀市Proj.、②医食農連携Proj. ①農水省生産局補助事業(エコフィード分別)、②支援企業Proj. ①東北大震災関係Proj.											
(2)講座、セミナー、育成事業	啓発事業	・食品リサイクル・サロン(四谷カフェ) - 主婦連合会 ・同 (渋谷ひろば) - 消費科学センター ・セミナー/フォーラムの開催 ・一般研修 / 会員企業への研修(適宜)	○4月(四谷)	○6月(四谷)	○7月(渋谷)	○8月(四谷)	○10月(四谷)	○11月(渋谷)	○12月(四谷)						
(3)表彰、コンクール事業	啓発事業	・エコフィード料理コンテスト							○予選会 (2会場)					○本選 (1会場)	
(4)体験活動事業	啓発事業	・エコツアー(食リサロ用、ワタミファームも対象に) ・エコツアー(業務支援企業用、適宜)							○サロン用	○サロン用					
(5)相談、助言事業	業務支援事業	・業務支援(会員企業働きかけ強化) ・同 (あずみ野EF/茂木町 Proj.) ・同 (堆肥化、会員へアプローチ) ・同 (エネルギー化)	○ あずみ野E.F.、小田急F.E.C.、茂木町計画の推進(一部、補助金申請へ)												
(6)キャンペーン事業	啓発事業	・ダンボールコンポスト普及支援 ・ニュースレターの発行(400部→500部) ・環境啓発を兼ねたカレンダーの制作配布(3,000部) ・政策提言 / キャンペーン(適宜) ・環境展 / 食育展への出展(適宜)	○7ラワーフェス	○3ヶ所6回				○3ヶ所6回	○エコプロ展						
(1公益事業区分)	(3事業区分)		○5月(No.7)					○9月(No.8)	○1月(No.9)		○5月参加準備開始				

註 1 : 赤字記載のものは、ワタミとの連携により力を入れて取組む事業を意味する。

註 2 : 水色字で記載のものは、資金的に余裕があれば臨機応変に取組むべき事業を示す。